

テレビ

省エネルギーの推移

テレビについては、ワイド化、フラット化が進み、これらが消費電力の増大要因となっていますが、全体の傾向としては他の家電と同様に消費電力は減少しています。

特に、待機電力の消費電力は著しく減少しており、04年型は90年型と比べ95%以上の削減率となっています。

テレビ省エネ基準

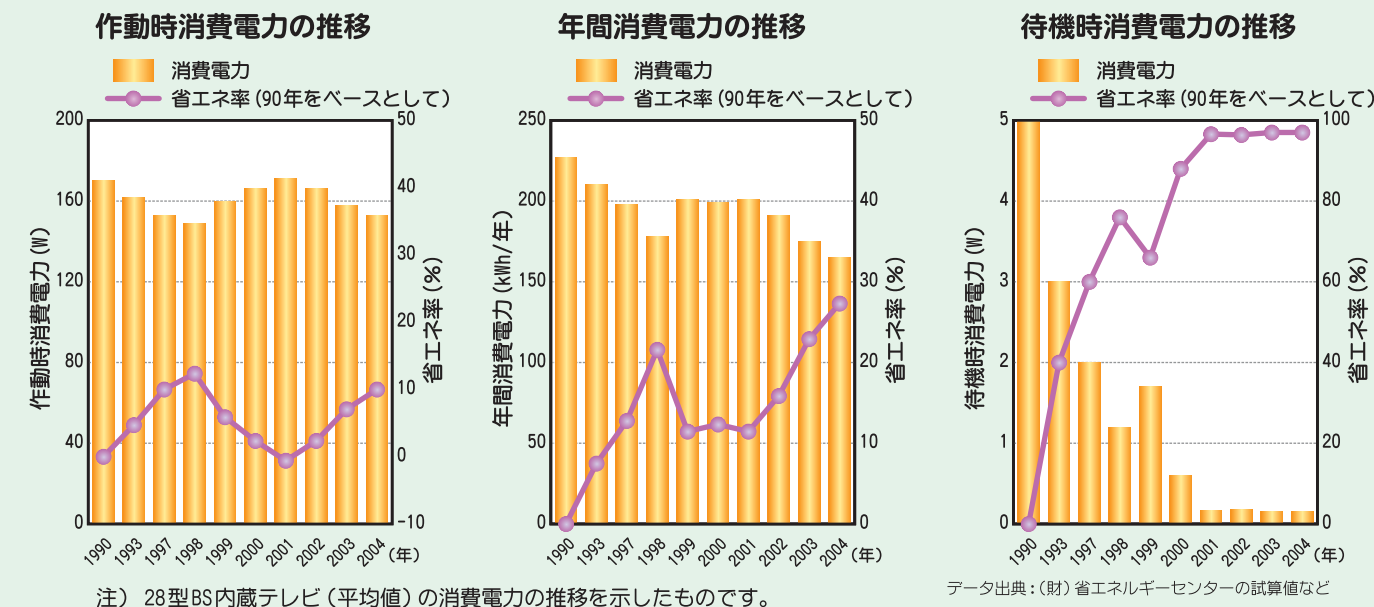
- ・目標年度：2003年度
- ・対象形態：ワイドテレビ
- ・達成率算出方法

$$X = EM / E \times 100$$

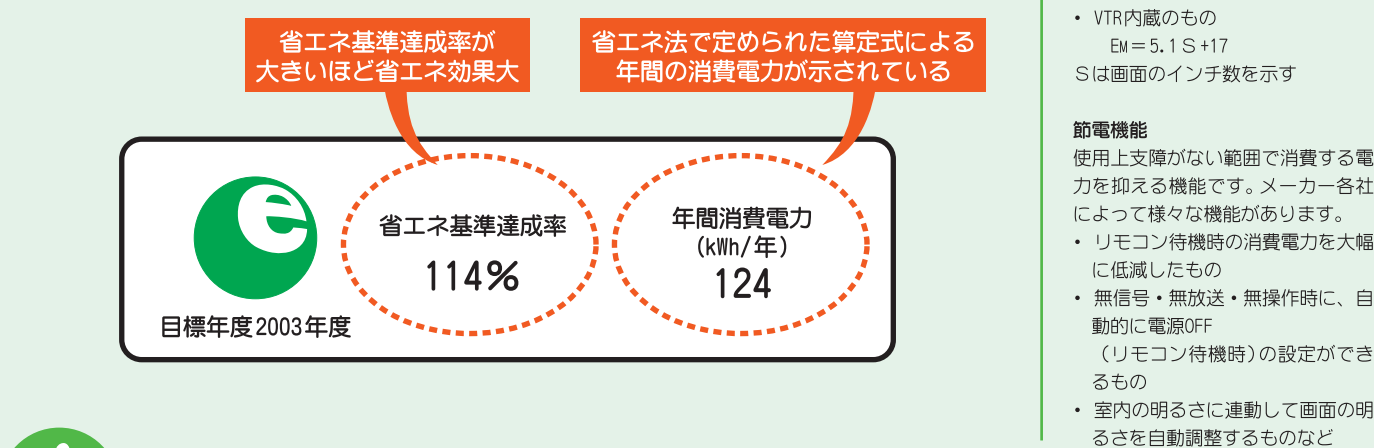
$$X$$
：省エネ基準達成率（%）

$$E$$
：エネルギー消費効率（kWh/年）

$$EM$$
：基準エネルギー消費効率（kWh/年）



テレビにおける省エネラベルの示す内容

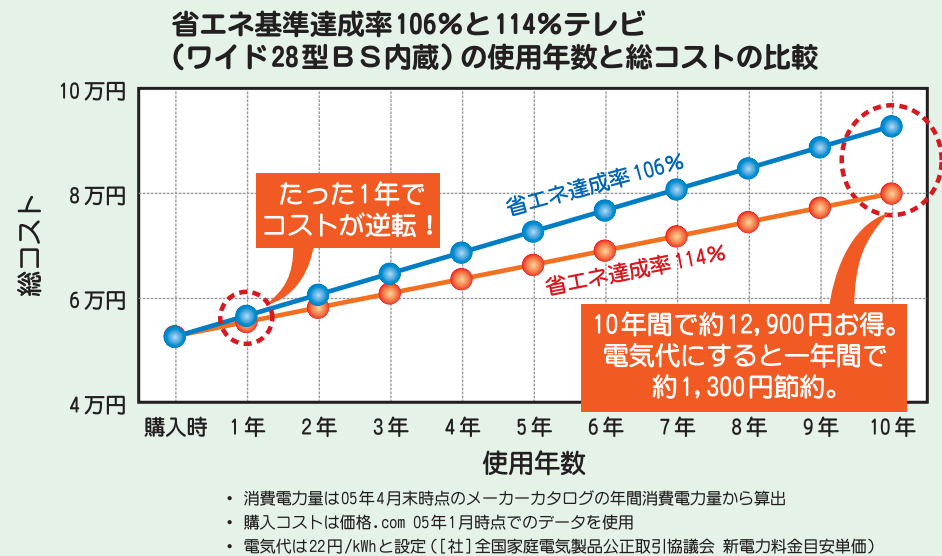


商品を選める上でここをよく押えましょう！

- テレビも「省エネラベリング制度」の対象機種です。省エネラベルを活用して各商品の省エネ程度を説明し、省エネ基準の達成度が高い商品を選びましょう。
- できるだけ節電機能があるものを選びましょう。
- 今、使っている製品があれば、最新機種と比べてどのくらい省エネで、結果的に電気代がどの程度安くなるかを説明しましょう。

省エネ効果の高いテレビはこんなにもお得

省エネ基準達成率114%のテレビと106%のテレビの値段がほとんど同じであることから、総コストは1年目で達成率106%のテレビよりも安くなります。



1990年製のテレビと2004年製テレビの比較

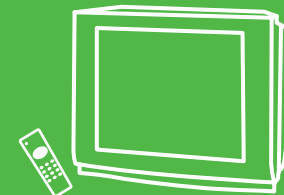
	年間消費電力 (kWh/年)	10年間の電気代 (円)	CO ₂ 排出量 (kg)
① 1990年製	227	49,940	858
② 2004年製	165	36,300	624
差(②-①)	-62	-13,640	-234

- ・各テレビの消費電力は左図の値を使用
- ・CO₂排出量（0.378kg/kWh：事業者からの温室効果ガス排出算定方法ガイドライン、平成15年7月、環境省）
- ・樹木CO₂吸収量（13.9kg-CO₂/本・年：50年もの杉、樹高22m、直径26cmとして：地球温暖化防止のための緑の吸収源対策、環境省/林野庁より）

50年もの杉に換算すると、2004年型機種一台のCO₂削減量は約2本分に匹敵！

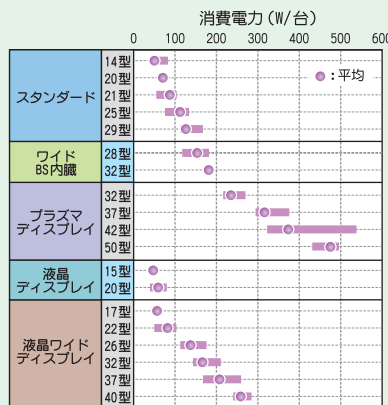
省エネ効果を発揮させるため上手な使い方を教えましょう！

- 見ていないテレビはこまめに消しましょう。1日1時間動作時間を減らした場合、年間で電気24.6kWhの省エネ、電気代は約541円の節約となります。
- 必要以上に画面を明るくしたり、音を大きくするのは電力の無駄使いです。
- ・画面の輝度を最適（最大→中央）に調節した場合、年間で電気9.8kWhの省エネ、電気代は約216円の節約となります。
- ・音量を最適（最大→中央）に調節した場合、年間で電気3.8kWhの省エネ、約84円の電気代節約となります。
- 機種によって節電機能が組み込まれている場合は、機能を積極的に活用しましょう。
- こまめに画面を掃除しましょう。画面はほこりがつきやすく、ほこりがあると暗く見えます。1週間に1度は乾いた柔らかい布で拭きましょう。
- 夜間や留守の時は主電源まで切りましょう。待機時消費電力の無駄を節約できます。



液晶テレビは長寿命で消費電力も少なめ
 同じサイズのブラウン管式に比べると、液晶テレビの消費電力は少なめであり、寿命も長いといえます。しかしながら、大型になると消費電力も増えることをよく説明しましょう。

テレビの消費電力



データ出典：（財）住環境計画研究所調べ（平成16年10月現在）